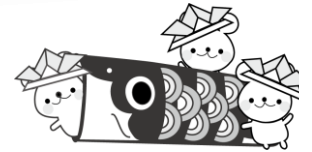




1学年通信

信濃の水

2016/05/09 第4号



入学して1ヶ月が経ちました。みなさん、元気ですか？

早くも1ヶ月が経ちましたが、高校生活慣れてきましたか？今年の1年生は欠席が少ない、という印象があります。毎朝きちんと起きて朝ご飯を食べ、学校へ行く…そんな当たり前の毎日を1日1日積み重ねていった先に3年後の自分が待っているんだと思います。オリエンテーション合宿のコシナ土屋さんの講演でも「3年後の自分を考えよう」というお話がありましたね。3年後の自分…想像できていますか？とりあえず、今日も元気に学校でお会いしましょう。

1学期中間考査まであと××日！

気がつけばテストまで2週間で切りました。「テスト」という響きに胸躍る人もいれば、頭が痛くなる人、そんな単語には心乱されないぞという人、いろんな人がいると思います。4年制大学、短期大学、専門学校への進学希望者、就職希望者、留学希望者、目指すところも人それぞれですが、「勉強」の仕方を身につけることはどんな進路をとったとしてもきっと役に立つと思います。どんな人生を歩んでも、未知なる事柄には出会うでしょうし、出会ったらそれを飲み込んで咀嚼して吸収する必要もあるでしょう。さあ、効率のよい暗記の仕方は書くことなのか、声に出すことなのか、眺めることなのか。理解するためにはノートをまとめ直すのか、参考書を読み込むのか、問題演習を繰り返すのか。いろいろやってみてほしいと思いますが、「テスト」という試される場がないとなかなか勉強に身が入らない人というのは多いのでは。テストをよい機会ととらえ、前向きに、力をつける努力をしてみてください。

テスト前の時期、短い時間で効率よく勉強するためにはどんな方法がよいのか、人によって適した勉強方法は様々だと思います。できるだけ高校生活早期に自分に適した勉強法を見つけられるといいですね。「この人、なんだか勉強できそうだな」「部活や通学で時間がなさそうなのにどうやって勉強しているんだろう」なんて感じたら、その友達にどうやって勉強しているのか聞いてみるのもいいかもしれません。進研模試や通信教育などの事業を行っているベネッセのホームページではテスト対策の方法として次のようなことをあげています。参考になりそうなところがあれば、参考にしてみてください。(裏面へ)



①暗記する部分を明確にしよう。

「理解する部分」と「暗記する部分」を明確にし、暗記する部分（数学であれば公式、英語であれば単語、国語であれば漢字など）を早期に洗い出しておこう。まとまった勉強時間では「理解」に時間を割くため、「暗記」は単語帳などすきま時間に覚える工夫をしておくといよい。

②問題集をたくさん解こう。

ある程度、理解や暗記ができたなら問題集に取りかかろう。問題集を解くことで、今自分がどれくらい暗記できていて、どれくらい理解できているのか測ることができます。「わからない部分」が明確になれば、より重点的にその部分を勉強し直せばよいのです。問題集はただ解けばよいというものではなく、解くことで自分の弱点を知り、その部分の勉強を重点的に行き、改めて問題集を解き直す。それを繰り返すことが大切です。そのサイクルを繰り返していけば、問題を解く力はおのずと上がっていくことでしょう。

③英語や国語の長文問題は、「解き方」になれておく。

テストは限られた時間の中で答えを導かなければいけないため、いかに効率的に問題を解いていくか、というのも大切なテクニックです。中でも国語や英語の長文問題というのは、時間がかかる問題のひとつ。そういった時間のかかる問題を、いかに効率的に解くかというのも、テスト勉強の内にトレーニングしておきたいものです。よく言われることですが、長文問題のコツはまず問題を読むことです。まずは問題を読んで、文章の一部を指している問題があれば、その部分を本文中に印をつけておく。そうやって改めて本文を読むと、問題を意識した形で本文を読めるため、問題を解くまでの時間がグッと短くできます。

④自分で問題集を作ってみる。

テスト前になると「ノートをまとめる」ということをする人も多いかと思います。ただノートをまとめるだけでは意外と頭に入っていないことも多いのではないのでしょうか？そこでオススメなのが、ノートをまとめるのではなく、ノートを元に自分で問題を作ってみることで。いざ問題を作る側の立場で考えると、どこが重要なのか、どんなふうの問題として出てきそうなのか、というのが理解しやすくなります。いわゆる「ひっかけ問題」なども自分で考えてみることで、出題者の意図を理解しやすくなり、ただ「ノートをまとめる」よりもはるかに多くの情報を身につけることができるでしょう。

⑤やることを整理して段取りを組む。

ここまで紹介してきた方法も、それぞれ適したタイミングというのがあります。たとえば、ひとつめの暗記の範囲を明確にすることや、ひとつ前の問題集を作る事などは、当然ですがテスト前日にやって間に合うようなことではありません。テストに向けてやらなければいけないことをまずは明確にし、そのうえで何をどういう順序でやっていくのか、という段取りをテストの日から逆算して組むようにするといいでしょう。テスト勉強にかける時間は人によっても異なりますが、最低でも2~3週間前くらいには、段取りは終わらせておかないといけません。

…勉強するかしないかは自己責任。結果はあなたの行動についてくるものです。2週間を切つて、もう手遅れだと始めない人、今からでもと始める人。あなたはどちらになりますか？